

# 色々最強のタイガーウッズ

2010年もいよいよスタートです。今年こそは心を入替え仕事に邁進致します。よってこの「森忠新聞」でも、ユーラゴードーしたの、今まで書いてきた薄っぺらな記事とはおさらば。この厳しい世界情勢を鑑み私たちは今後どうすべきか？なんて深いテーマで進めて行きたいと思ひます。さて、第1回目は何について...うーんなかなか素敵な話題は見つからないなあ...。あ、そういえば年賀状の準備もまだしていないなあ...。今年は寅年だから、トラを真ん中に持ってきて。寅？虎？トラ？...タイガー？そういえば、私の尊敬するあの「タイガーウッズ」。私の中のスーパースターであるあの「タイガーウッズ」を今年は見る事が出来ないかもしれません(泣)。クラブを購入する時、「ウッズと同じものを！」とって店員に呆れられ、結局使いこなせるかも判らないまま何十万の衝動買いをさせた「タイガーウッズ」。ウェアはもちろん彼の勝負服、上は赤のシャツ、下は黒のスボンを身にまとい、全てナイフで統一。果てはメガネまでもがナイフになる始末、私のゴルフを始めた年に鮮烈デビューをし、私と共に歩んだ13年間。その彼が「不倫騒動」の真只中。本人の口から語られていないため真相は良くわかりませんが、愛人が1人、2人、3人と名乗りを挙げ、噂では何人もいるとのこと。大の女性だけを受け続ける私からすれば浮気は絶対許せませんが、いいじゃありませんか、タイガーですもの。それが、無期限のツアー欠場とのこと...。今年も膝の手術をしていた時はタイガーを見る事が出来なく、なんとも寂しいトナメント観戦でしたが、1年もすればまた彼のスーパープレーを見る事が出来ると信じ楽しみにしていたからこそ待つことができました。そして見事復活。シャートナメントを沸かせ、賞金王にもなりました。でも今回はいつ帰ってくるかわかりません...。他の選手たちもそれぞれ素晴らしいのですが、何か物足りない。彼にしかできない奇跡のようなショットがあるのです。あ、今年は何を楽しみに生きていけば良いのやら。まあぼやいていても始まらないのでそろそろ本題へ。ええっと何だっけ？知的でウイットに富んでいて、尚かつ政治や経済にスバッと入る話題ね...。現在、我が国日本は未曾有の不況と呼ばれる時代に突入し.....。



# 「流」のトラウトブロッカー

弊社森忠の中にあって唯一の週末アングラー編集長(T)が、壮絶なまでにマニアックな内容でお送りする太公望のためのコーナー。10年も明けたばかりのオアシスに何をすることがあるのかと思われるかもしれませんが、そもそもが川釣師にオアシスはないのです。ではオアシスを如何過ごすか？ある釣師は他の釣りを楽しむ、また他の釣師は結氷していない流れをめざすなど様々な過ごし方があります。しかしやはり来るべきシーズンへの準備をする釣師が圧倒的多数。私も正月休みを釣具の手入れに費やすつもりです。その手入れの中にあってもなかなか最近の釣師がしない、したがない事があります...フックの手入れ...事実大物を取り逃がす原因としてラインブレイクと並んでフックトラブルは多くそれとは裏腹に蔑ろにされている事多い道具でもあります。たかがフック、だがそのフックに何度涙を飲まされたか...必須の点検項目なのです。ルアーの釣りにおいて標準仕様のトリブルフックはルアーの持つ性能を必要かつ十分に発揮するように選定・装備されています。従ってこれを変更する事は本来の性能を変質させ、ともすれば魚が全く掛からなくなる事さえあるリスクを背負います...が(T)はこの基本をアッサリ無視します。...と此処まで書きましたが既に尺を使い切ったようですのでこの続きはまた来月に...

~三京ダイヤ VBダイヤドリル六角軸入荷。~  
磁器タイル用ドリルの決定版!! しかも六角軸!! ぜひ手にとって御覧下さい。全サイズ在庫中!!

SANKYO DIAMOND  
http://www.sankyo-diamond.co.jp

国内製造でダイヤ付  
平型で磁器タイル等の  
掘削

国内製造でダイヤ付  
平型で磁器タイル等の  
掘削

国内製造でダイヤ付  
平型で磁器タイル等の  
掘削

国内製造でダイヤ付  
平型で磁器タイル等の  
掘削

# 初春とあざ 新年のお慶びと申し上げます

~謹賀新年~ 昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年も社員一同、皆様にご満足頂けるサービスを心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。この森忠新聞もますますの御愛顧いただきたくよう更なる紙面の改良に勤めていきます。

新年明けましておめでとうございます。政権交代で政治の混乱と新政権運営のごたごたが続いた2009年もようやく暮れて、新しい年を迎えるに当たり、正直不安がいっぱいなのです。これからの世の中がどうなっていくのか、日本がどうなっていくのか、私にはほとんど分かりません。予言者ではありませんから。壮大な話ではありませんが、今 世界で、そして日本で起っているこの大不況は ひょっとしたら100年に1度の不景気ではなく 人類の転換点なのかもしれません。不景気だから物が売れない、安いものしか受け入れられない、それは本当でしょうか、高いから買えないのではなく欲しくないから買わないのだと考えると、一つの方向が見えてくると思います。今、世の中は変わろうとしている。日本から変わろうとしている。それは日本という国が豊かだから、誰がなんと言おうとも、いかに老後の年金が心配であろうとも私たちは豊かなのです。量的にも質的にも生活に必要なものは私たちの周りに溢れているのです。世の中が変われば会社の役割も変わる、会社の存在意義が単なるモノ/サービスの提供からそれらを通して価値の提供へと変わろうとしている(もう、すでに始まっている)。私たちは単に合理性や効率性を求めるのではなく、人間の血肉を伴う「からだ」と苦楽を伴う「こころ」を大切にしながら お客様と「人対人」の、ある意味ウイットな信頼関係を築いていくことが大切であると思います。それは何十年も守り続けてきた、こだわりや技術を力に変えていく お手伝いを全社一丸となって果たしていくことであり、お客様の心に響く「ぐっとくる森忠」を目指すことにあると心底感じているところです。いずれにしても今年もおそらく厳しく苦しい経営環境が続くと思われまますが、めげずに社員一同、ベストの対応を実行してまいります。何卒、本年も変らぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 苅山 忠士

お客様皆様明けましておめでとう御座います。激動の09年も過ぎなんと生き延びて来ました。未来の歴史学者が09年を総括すると、どの様な答えを出すでしょうか、非常に楽しみにしています。自民党の賞味期限切れ、マイケルジャクソンの才能枯渇(あまり関係ありませんが...)すべて自然の流れの中で起きた事だと思ひます。ですが(此処から本題)我々庶民は多少の賞味期限を過ぎて我慢して食し、初めから無い才能など当てにせず只々家族の為、自分の為、社会の為に働きたいものだと思ひます(少々大袈裟になり過ぎました)。私たちの業界も新しい波、インターネット販売、輸入品の安売り、お客様の縮小など取り巻く環境は決して良くは有りませんが、必ず元氣企業になって生き残る覚悟です。今年10年何かとお客様の要望に最大限添い森忠の創意工夫で新しい顔の森忠を作って行きたいと思ひます。09年は本当にお世話になりました10年も09年以上に宜しくお祈りします。

取締役専務 森 仁

# 最強のタイガー-マスク-三沢光香

10年の干支は寅。トラと聞いてやはり思い出されるのが三沢光晴(2代目タイガー-マスク)。亡くなったのが悔やみきれません。もう一度書かせて下さい。6月の三沢の死、それはプロレスの終焉を意味していたといっても過言ではありません。マスクを脱ぎSWS騒動後の全日の窮地を救い、三冠統一ベビー級王座5度獲得、21度防衛。果ては選手への待遇改善のため全日を捨て「方舟」=J/A (新団体)まで設立して職業としてのプロレスラーの地位向上に真剣に取り組んでいました。レスラーとして常にエースであり続けたというよりも、昨今隆盛を見せている総合格闘技に真っ向から自分たちのスタイルを貫き通す「プロレス」のエース、そう言っても過言ではない存在でした。そんな三沢がギリギリの試合をする理由を語っています。「それは考え方なんです。個人のね。俺の場合は、何事も次はないよ、という人間だからね。明日がんばらばいいじゃないか、というけど、いや、それは違うんじゃないか、と。人生には、たら、ればがないと思っている人間なんです、ああやったら、こうやったら、そんなことあとから言ったって始まらないじゃないですか。一生できるもんじゃないですからね。やれるうちは一生懸命やろうよ、という事です」...新しい区切りを迎えました。自らのスタイルを貫き10を三沢の魂と共に闘い抜こうと思ひます。(何と闘うの?)

森忠新聞

1月号  
(第24号)  
平成22年1月6日(水)  
発行元:株式会社 森忠  
札幌市白石区  
北郷3-2-1-3  
011-876-1133  
FAX011-876-1144  
http://www.morichu.jp/

